

第3期宮前区区民会議 第11回 地参知笑部会 摘録

日 時 平成24年1月27日（金）18：00～20：00

場 所 宮前区役所 2階地域振興課奥会議室

参加者 委 員 持田部会長、恒川副委員長、山下委員長、河井委員、久保委員、
高橋委員、平井委員、中村委員、吉田委員、
直本副委員長（オブザーバー）

事務局 有山企画課長、雨宮係長、白石職員
佐谷コンサルタント

1 提案の検討について

(1) みやまえ情報サポーターズ養成講座

持田 養成講座のプログラムについては、区民会議の委員の皆さんにぜひ、出席してもらいたい。

久保 対象は子連れのお母さんを考えていたが、座学以外は保育はつかないことになるだろう。子連れで取材することになるのか。

持田 保育は確保できるか。

区 確保できる。

高橋 何か面白みがないと思う。

久保 高校の広報に関する講座を聞いてきた。1年間広報誌づくりを経験した後に講座を聞いたので講座が生きたと思う。既に広報をやっている人を惹きつける内容になるといいのではないか。ボランティアの人がセミプロになれるような内容だといいいのではないか。

高橋 講座プログラムにイラストを入れるといいのではないか。子連れ取材の絵など。

平井 第7～11回は「チームに分かれて取材と原稿作成」程度の表現でいいのではないか。

持田 第1回でチーム分けをするのか。

区 コンテンツはできているので、それに沿ってチーム分けをするイメージ。

久保 講師に話をしてもらうことによって参加者が何をやろうかイメージが広がると思う。

平井 1回目は区民会議で話し合った内容を伝えることは大事だと思う。

河井 チーム分けは2回目でもいいのではないか。

山下 区民会議で話し合った「住むから暮らすまちへ」ということを話した方がいい。

高橋 1回目の2時間は長いと思う。グループワークを組み入れた方がいい。20ページのものを提示するのか？

平井 最初に「雑誌をつくれるんだ」ということを強調した方がいい。

持田 自分は雑誌をつくったことがないので、高橋さんがつくったもの以外が発想できなくなる。始めに見せるのがいいのかどうか。また、基本はあるが、その中での幅は出ていると思う。

恒川 参加者はプログラムを見て参加すると思う。ばらばらの思いを区民会議で出した方向に合わせていくことが1回目ではないか。方向としてはこれでいいと思うが、手法は微調整をすることになると思う。

第3期宮前区区民会議 第11回 地参知笑部会 摘録

久保 講座では、高校の保護者を学校に引きつけるレイアウトが必要ということ聞いた。キャッチと写真が大事だと思う。

高橋 編集やデザインは任せることになると思う。繰り返しになるが1回目的大事だと思う。また、フリートークの時にも区民会議の委員に来てほしい。

区 編集やデザインは、タウンニュース社の講師のアドバイスを受けながら、印刷会社のデザイナーの作業をお願いすることになる。記事や写真、基本レイアウトなどのベースは受講生で作ることになる。

持田 ぜひ区民会議の委員に参加してほしい。

(2) 雑誌のスタンプラリー等

高橋 (資料説明)

区 (資料説明)。考え方を整理しておけばいいと思う。

恒川 スタンプラリーの手法については検討していけばいいと思うが、看板は文化遺産として整備をすべきだと思っている。

区 謎解きがいいと思っている。行かないとわからないというクイズがいい。講座受講生がクイズを作る過程で地域資源を学ぶことができる。

持田 カルタの作成に関わって、いろいろわかって良かった。謎解きがいいのではないかな。

平井 日本橋の謎解きツアーが面白いと思った。ヒントはお店にあった。いろいろ工夫すればいいのではないかな。

河井 宮前カルタと連動させるといいと思う。富士山の見える場所というのを発掘するのもいい。

恒川 表示板は少しずつ整備していったらいいと思う。メンテナンスをやる団体をつくらせていけばいい。

河井 内容は受講者が考えればいいと思う。景品等は区に考えてもらう。

区 活力づくり部会でもスタンプラリーを考えているが、ふれあいフェスタや区民祭等でブースを設けて景品を受け取る方式も考えられる。

恒川 景品をつけることは、提言すべきなのか。

区 実際に現地を回る人たちの励みになるので、提案に入れてもいいと思う。

久保 商店の割引券を景品とすることも考えられる。

平井 他のガイドブックのことを掲載するので、そこで主催するイベントの割引等の連携も考えられる。

久保 「景品があると望ましい」という表現ぐらいかな。

持田 「謎解き」を中心に表現を考えてほしい。

2 宮前区区民会議フォーラムについて

持田 事例発表の団体があれば推薦してほしい。

区 山下委員長の自治会やカンガルーはどうか。

恒川 事例発表が短いのではないかな。

区 一方的に話すというよりも、話し足りないところは、意見交換の時間に話してもら

第3期宮前区区民会議 第11回 地参知笑部会 摘録

ったらどうかと考えた。

恒川 ひまわりサロンは区民の人たちが関心を持つのではないか。

区 2団体にして話を長くしてもらおうというものもある。

直本 20分ぐらい話してもらってはどうか。

区 この部会からは、発表者は2団体で、発表時間を5分～10分長くするという意見をいただいた。来週の活力づくり部会でも検討する。

持田 役割分担はどうか。河井さんにティータイムをお願いしたい。受付を平井さん、カルタ班は久保さんと自分が担当する。

3. その他

区 区民会議のアンケートを提出してください。次回の区民会議は2月22日。

山下 これで部会としては終りとなる。雑誌をつくることが決まり、暮らしていくまちをアピールすることになった。雑誌づくりを見守っていきたい。お疲れ様でした。